

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学実習Ⅱ	NSP44_010	選択	4	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎洋子他	301	y.yamazaki	金曜日 16:20~17:00		
授業の目的・概要	本実習では、学校保健分野、産業保健分野、市町村で実習し、公衆衛生看護の実践に必要な基礎的能力を修得する。特に地域住民を対象とした市町村保健センターにおける実習では、実習前に地域の保健衛生福祉統計等のデータから、地域アセスメントを試み、学生自身で解決しなければならない地域の課題を明らかにし、実習課題をもって、保健福祉事業、地区活動等に参加する。また、地域生活集団を理解し、地域を対象とした疾病を予防し、健康を保持増進するための公衆衛生看護活動の方法を習熟する。				
学習上の助言	本実習は、それまでに習得した公衆衛生看護学の理論を実践の中で確かめるものである。				
教科書	特に指定しない				
参考書					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	学校保健・産業保健分野の看護の対象とその活動方法の概要を説明できる。			NS (1~5)	
②	地域アセスメントの過程を説明し、表現できる。			NS (1~5)	
③	学校保健分野・産業保健分野、行政保健分野の看護活動の連携の方法を説明できる。			NS (1~5)	
④	地域生活集団を対象とした保健事業の法的根拠や方法を説明し、実践できる。			NS (1~5)	
⑤	家庭訪問援助計画を立案し、相談的・教育的保健指導の一部を実践できる。			NS (1~5)	
⑥	地域の健康の保持増進のための地域づくりについて説明できる。			NS (1~5)	
授 業 計 画					
1 実習時期と期間 6月~7月の4週間					
2 実習施設 市町村実習：都留市、大月市 学校保健：ふじざくら特別支援学校 産業保健：山梨産業保健総合支援センター					
3 実習の展開					
第1日<学内>	・全体オリエンテーション ・市町村の概要	学校保健オリエンテーション ・実習支援学校についての事前学習			
第2日<学校>	学校保健実習	学校保健実習			
第3日<学内>	学校保健実習まとめ	産業保健実習オリエンテーション			
第4日<産業>	産業保健実習	産業保健実習			
第5日<学内>	学校保健・産業保健分野の保健師活動まとめ	市町村実習オリエンテーション 地域アセスメント資料分析			
第6日<市町村>	・市の概要等保健師活動オリエンテーション ・保健師活動計画説明	保健福祉事業への参加 地区踏査・地域アセスメント			
第7日~第9日 <市町村>	保健事業の参加・地区踏査・地域アセスメント	保健福祉事業への参加 ・地域アセスメント			
第10日 <学内>	家庭訪問事例演習(母子・成人・高齢者) 参加保健事業カンファレンス	地域アセスメントの中間報告 (地域アセスメントに基づく地域課題の整理)			
第11日~第14日 <市町村>	同行家庭訪問(母子・成人・高齢者) 地域課題に基づく健康教育計画	同行家庭訪問(母子/成人/高齢者) 地域課題に基づく健康教育計画			
第15日<学内>	家庭訪問事例報告	参加保健事業カンファレンス			
第16~18日 <市町村・学内>	健康教育企画案作成/保健福祉事業参加	健康教育企画案作成/保健福祉事業参加			
第19日<市町村>	健康教育の実施	地域アセスメント最終報告会 市町村実習カンファレンス			
第20日<学内>		公衆衛生看護学実習のまとめ・記録整理			

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

学習課題・学習時間（時間）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活集団の生活実態をつかみながら、保健事業に参加、保健師の家庭訪問援助の特徴について学び、その情報に基づき、住民の健康意識の向上や地域づくりについて考えるという一連の地域看護過程を習得する。</li> <li>不明な点は、積極的に学生間で討論する、あるいは調べて主体的に学ぶ。</li> <li>・地域で実際に活動する看護専門職の活動から、公衆衛生看護専門職としての態度を養う。</li> </ul>							
必要時間： 10 時間							
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	40	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	10	20	0	0	30
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習記録、課題レポートより判断する。				コメントを入れて返却する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①	✓	カンファレンスでの発言、健康教育や地域アセスメントの成果物で判断する。				実習指導者より講評をもらう。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習期間中は、個々の学生により、参加実習内容が異なるので、体調に注意し、休まないようにする。 実習中に会う看護専門職の活動の意図・態度を学ぶことを通して、自らの看護専門職としての態度を養う。				出席状況、実習指導者への積極的協力、質問の内容を評価の対象とし、個別指導を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	望月宗一郎、伊丹幸子、渡邊美樹、馬淵路子						
教員の実務経験	教員全員が自治体保健師の活動経験を有している。						
実践的授業の内容							
そ の 他							